

近代英語協会第25回大会

日 時：2008年5月23日（金）
場 所：広島女学院大学（人文館 303 教室 3 階）
〒732-0063 広島市東区牛田東 4-13-1
TEL: 082-228-0386（総合案内）

- 受付開始 9:30
開会の辞 10:00 — 10:10 会長 青山学院大学教授 秋元 実治
- シンポジウム 10:10 — 12:10
「中英語と近代英語の接続について」
司会 信州大学教授 橋本 功
講師 「非人称構文の変遷から見た中英語と近代英語の接続」
倉敷芸術科学大学准教授 大野 英志
講師 「中英語と近代英語の区分に関する統語論的根拠」
慶應義塾大学教授 児馬 修
講師 「統語的变化を中心に見た中英語と近代英語の接続」
中部大学教授 大門 正幸
講師 「言語変化と認知言語学」
杏林大学助教 八木橋 宏勇
- 昼食・総会 12:10 — 13:30
特別講演 13:30 — 14:40
司会 愛知県立大学教授 中村 不二夫
講師 “Theory and practise in English historical sociolinguistics”
Professor Terttu Nevalainen, University of Helsinki (Finland)
(日本学術振興会外国人招へい研究者(短期)講演)
- 研究発表
第一部 14:40 — 16:00
司会 東海大学教授 大沢 ふよう
1. 英語史における名詞句内要素の統語位置 名古屋大学大学院 茨木 正志郎
2. 理由節の接続様式の歴史：because 節を一例に
東京海洋大学非常勤講師 東泉 裕子
- 休憩 16:00 — 16:10
- 第二部 16:10 — 16:50
司会 大阪国際大学教授 菊池 繁夫
1. Jane Austen の作品中における進行形：動詞タイプの考察
兵庫県立兵庫高等学校教諭 坂東 洋子
- 特別講演 16:50 — 18:00
司会 広島大学教授 樋口 昌幸
講師 「英文法を探る」
広島大学名誉教授 安藤 貞雄
- 閉会の辞 18:00 — 18:10
懇親会 18:30 — 20:00 広島女学院大学教授 米倉 綽
会場：ヒノハラ・ホール 3階